

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2013

4

April

No.87



入学式 学長訓辞

- 学位記授与式
- 教育学部[カンボジア運動会プロジェクト]
- 流通科学部
[アジアビジネスコース開設/商品開発プロジェクト]



期待を胸に、新生活スタート!!

輝かしい未来へとつながる中村での日々が、いよいよ始まる。



08

活躍する卒業生

07

流通科学部
「アジアビジネスコース」開設
片山 富弘 学部長インタビュー

05

学位記授与式
卒業生コメント

03

入学式 学長訓辞

02

新入生コメント

CONTENTS

短期大学部554名、大学740名、大学院21名の新入生と35名の編入生が新しいスタートを迎えました。
大きな期待を抱いて大学生活を始めた中村学園大学・中村学園大学短期大学部の新入生に、
これからの豊富を語ってもらいました。

大学 栄養科学部



将来は管理栄養士として病院で働きたいと考えています。その夢を叶えるために、管理栄養士国家試験の合格率が高い中村学園大学への進学を決めました。目標に向かって勉強も頑張り、そして友人も多くつくって、充実したキャンパスライフを送りたいと思っています。(山崎さん)

短期大学部 食物栄養学科



食にかかわる仕事に就きたいという思いがあり、栄養士免許が取れるこの学科への進学を決めました。あらゆる学びに全力で打ち込みたいですし、大好きなダンスを続けるためにダンスサークルにも入りたいと思っています。時間を有効に使って、悔いが残らない2年間を過ごしたいです。(内田さん)

大学 教育学部



ずっと小学校の先生になることを目標にしている、その夢を実現させるために教育学部を選びました。私と同じ目標を持った仲間がいっぱいいると思うので、切磋琢磨しながら、4年間で一緒に成長できるように頑張りたいと思っています。今は不安より期待が大きいです。(大塚さん)

短期大学部 キャリア開発学科



社会に出てからすぐに役立つ勉強ができると思ってこの学科を選びました。真面目に、そして楽しく学びたいです。(佐々木さん 左)
2年間でできるだけ多くの資格を取得したいです。たくさん力を身につけて、将来の仕事に活かせるよう頑張ります。(柳川さん 右)

大学 流通科学部



興味がある物流をはじめ、社会の仕組みについて幅広く学びたいと考えています。将来の目標は公務員になることですが、この学部は地域経済についても学べるので、その点もしっかり勉強したいです。毎日を大切に過ごし、充実した大学生活となるよう頑張ります。(吉田さん)

短期大学部 幼児保育学科



中村学園大学のオープンキャンパスで話をしてくれた先輩が魅力的で、こんな学生になりたいと思って幼児保育学科に入学することを決めました。目指しているのは小学生の頃から憧れていた保育士。勉強第一で考えていますが、ボランティアなどにも挑戦したいです。(林田さん)

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
広報誌【セロリ】2013.4 April No.87



14

EVENT and NEWS
・学内外のイベント
・学生表彰
・教職員の動き他

13

平成25年度入試結果

11

流通科学部
商品開発プロジェクト

09

教育学部
カンボジア運動会プロジェクト

平成25年4月2日

入学式



新入生の皆さんへ — 学長訓辞 —

国内外で活躍する人材へ。

学長 甲斐 諭

ご来賓各位をはじめ、新入学生の保護者、ご家族の皆様方の多数のご臨席のもと、平成25年度中村学園大学短期大学部、中村学園大学、中村学園大学大学院の合同入学式を挙げるに当り、中村学園大学短期大学部554名、中村学園大学740名、中村学園大学大学院修士課程と博士課程21名、合計1,315名の新入学生を本学に迎え、その前途を祝福することは、私共教職員にとりまして、この上もない慶びでございます。新入学生の中には、中国とベトナムからの19名の外国人留学生も参加しています。

新入学生の皆さん。改めて、ご入学おめでとうございます。また、保護者、ご家族の皆様方におかれましては、さぞかし万感の思いで、この入学式をお迎えになられたことと、本学教職員を代表しまして、心よりお慶びを申し上げます。

新入学生の皆さんは、中村学園で学ぶことを選択されました。皆さん、どうか二日も早く、本学のシステム、それに新たな友人や先生方に慣れ、本学で学ぶことを好きになってください。本学での生活が好きなことが、まずは最も大切な要点です。

中村学園は、現在の短期大学部の前身である福岡高等栄養学校の昭和29年の創設から数えて59年、短期大学部では3万人以上、大学では1万人以上の卒業生を社会に送り出し、建学の精神に培われた皆さんの先輩方の活躍によって、本学は高い社会的評価を受けて

います。皆さんも本日から本学の一員となりますので、学園祖中村ハル先生が掲げられた建学の精神を熟知し、日々それを体現してください。

中村ハル先生は、第二に、日本人としての自覚を持ち、「清節の風をたつとび、感恩の情にとみ、労作にいそしむ」人格の形成に努めることが重要と教えられました。清節とは高い志を持ち続けること。感恩とはご両親をはじめ、皆さんを教育する先生方や成長を支援して下さる方への感謝を怠らないこと。労作とは困難に打ち勝ち、努力して物事を達成するということです。この清節、感恩、労作の建学の精神は、皆さんが人間性を磨き、将来、社会が求める専門職業人となるための基本的な心構えを説いたものです。

先生は、第二に、「形は心の現れである」と説かれました。本学で学ぶ学生には「中村らしさ」が大切です。中村学園の学生らしい服装、言葉遣い、挨拶、マナーにも、本学で学ぶ学生らしさがないければなりません。「中村スタイル」という小冊子を皆さま全員に配布しますので、熟読してください。この基準であるスタンダードから大きく外れる学生には注意を与えることになっています。

先生は、第三に、「理論と実際の統合を図り、学問と生活の融合を重んじた教育と研究に努める」ことが重要であると説かれました。本学園で学んだ学問を、実際の生活に生かしながら、合理的で、しかも人間性豊かに成長してください。

本学は、世界に通用する学位を授与する高等教育機関であり、皆さんが、国内は勿論のこと、アジアや欧米など海外でも活躍できるように教育目標を掲げ、カリキュラムを編成しています。将来、皆さんが国の内外で活躍できる人材になつて頂きたいと心から願っています。そのために次の五点が重要だと思いますので、実践してください。

まず、第一点は、「学びは基本から」ということです。本学では入学してからの補完教育などで教育支援をしています。が、もし教科に対する基本的知識が不十分であると思つたら、本年度から開設した「基礎教育センター」で補強してください。予習と復習、即ち自学・自習を自らに課してください。

第二点は、「本学のキャンパス以外にも学びの場を求める」ということです。本学は九大や福大、西南大などと、単位互換制度を設けていますので、近隣の他大学においても正規の授業を受けることが可能です。さらには、将来の職業選択に有益な企業訪問、インターンシップ、ボランティア活動、サークル活動を通じて、キャンパス外でも学んでください。また、学業の余暇にはクラス・マッチなどで汗を流し、生涯の友人を作ってください。

第三点は、「悩みは早く解決する」ということです。在学中に一時的に精神的・肉体的原因から学業が思ったようにはかどらないことは、誰にでもあります。本学は個人情報に十分留意した指

導主任制度、学生相談室、保健室などの学生支援システムを整備しており、希望すれば、メンタルヘルスのアドバイス等を受けることができます。

第四点は、論語の中にある「和して同ぜず」という言葉を良く吟味し、実践することです。和するためには、周囲の人と、まずはコミュニケーションを取る必要があります。クラスメートや友人、それに教職員の方と充分な意思疎通ができるように、コミュニケーション力を高めてください。同ぜずについてですが、協調性と主体性をバランス良く、両立させることが肝要です。実は、最近、在学中に、良好な対人関係を構築できず、そのために就職、進学が上手くいかず悩んでいる学生が増えているのです。その人達の特徴は、コミュニケーション力不足並びに協調性と主体性のアンバランスが原因であるように私には思われます。「和して同ぜず」は聞きなれた平易な言葉ですが、実は奥が深く、現代社会を生きて行くための重要なメッセージが含まれています。良く考え、実行に移してください。

第五点は、留学や海外研修にチャレンジすることです。若いうちに外国に出てみると、学問の必要性を痛感し、また日本の良さを再発見できると思います。先日、北京にある中国人民大学に交流協定締結に行きましたが、そこで本学から留学している二人の学生に会いました。欧米やアジア、アフリカの学生と肩を並べて、堂々と勉学している姿に感動

しました。本学では中国、韓国、欧米などへの留学を、奨学金を準備して支援しています。皆さんが世界で活躍できるグローバル人材に成長されることを期待しています。

本学は、専門領域の知識・技術を伝授し、また様々な資格の取得を支援するとともに、建学の精神に則つて21世紀の日本を背負う心豊かで、情操に富み、社会性・倫理性に培われた人材を養成する高等教育機関です。多くの先輩、友人との出会いを大切に、学問への情熱を高め、自分に対して真実を求め、他

人に対しては真心を持つて接しながら、学園祖のご遺訓である「努力の上に花が咲く」を心に刻み、中村学園の新たな歴史と伝統を継承する一員に加わってください。

本日の喜びと学問への情熱を長く胸に秘めて、本学の学生であることに誇りを持って、勉学と人格の陶冶に勤んでください。本日は、皆さんの大きな夢と希望へと続く道の第一歩を踏み出す大切な日です。力強く歩み出してください。ご入学おめでとうございます。



平成24年度

学位記授与式



短期大学部 食物栄養学科



調理実習に打ち込んだことが一番の思い出です。楽しく、充実した2年間を過ごせました。卒業後は保育園の栄養士になりますが、ここでの学びを活かし、安全安心で美味しい料理を子どもたちに提供したいです。(生野さん 左)

親身になって指導してくださる先生方ばかりで、中村で学んで本当に良かったと思っています。学園祭実行委員会に参加し、仲間と力を合わせて取り組んだこともいい思い出です。卒業後は薬局の栄養士になります。(大橋さん)

短期大学部 キャリア開発学科



キャリア開発学科では、マナーアップやホスピタリティなど、バラエティに富んだカリキュラムで、すぐに社会人として役立つ学びができました。後輩の皆さん、2年間はあっという間です。一日一日を大切に頑張ってください。(杉山さん 左)

秘書検定や日商簿記など、在学中にさまざまな資格を取得しました。卒業後は金融機関に就職します。この学科で得た幅広い知識を活かし、より多くのお客さまから親しみを持っていただける銀行員になります。(澤田さん)

短期大学部 幼児保育学科



密度の濃い2年間で、自分自身、大きく成長できました。卒業後は保育士になりますが、初心を忘れない先生でありたいと思っています。後輩の皆さんも、中村のすばらしい環境のもとで夢に向かって挑戦してください。(梅田さん 左)

先生方の熱心なご指導のおかげで保育士になることができました。私が壁にぶつかった時も、じっくり相談に乗ってくださり、心から感謝しています。信頼され、常に笑顔の保育士を目指し、これからも努力を続けます。(山下さん)

謝恩会会場 西鉄グランドホテル



謝恩会会場 西鉄グランドホテル



謝恩会会場 タカラホテル福岡





平成25年3月15日、学位記授与式が本学体育館にて行われました。
当日は卒業生の新たな門出を祝うかのように青空が広がる爽やかな天候でした。
皆さんの晴れやかな表情から、充実感いっぱいの学生生活を過ごした様子がうかがえました。



卒業生コメント&謝恩会風景

大学 栄養科学部



充実した4年間で過ごせたと感じています。食品加工のゼミで学んだことが一番の思い出です。勉強が大変だと感じたこともありましたが、先生方のサポートや仲間が努力する姿に刺激を受けて乗り切ることができました。(金崎さん 左)

4年間ずっと同じクラスだったこともあり、仲間との別れが辛いです。この春から栄養士としてドラッグストアで働きますが、小さな子どもからお年寄りの方まで、誰にでも頼られる存在になるよう、これからも頑張ります。(田中さん)

謝恩会会場 ホテルニューオータニ博多



大学 人間発達学部

※2011年度より「教育学部」に改組



軽音楽部に所属して楽しんだことや、造形ゼミで自分の作品を作り上げたことなど、思い出は尽きません。学部を越えて多くの友人もできました。後輩の皆さんも、学生時代にいろんなことに挑戦して欲しいです。(図師さん 左)

友人、そして家族の支えがあって無事卒業することができました。卒業後は幼稚園教諭になりますが、4年間ここでみっちり学んだことを発揮し、子どもたちの心にずっと残るような先生になりたいです。(飯田さん)

謝恩会会場 西鉄ソラリアホテル



大学 流通科学部



男子バレーボール部でキャプテンを務めました。学業とクラブ活動、どちらも集中して取り組んで両立ができたと思います。卒業後は小売業の会社で働きますが、修得した物流の知識を仕事に活かしたいです。(池之上さん 左)

卒業後は日本トイザラス株式会社に就職します。入社後はリーダーとしての役割を任されることになると思いますが、この学部で学んだ経営、流通、マーケティングなどのさまざまな知識を役立てたいです。(坂田さん)

謝恩会会場 ホテル イル・パラッツォ



流通科学部に 「アジアビジネスコース」開設。

流通科学部に2013年4月から開設された「アジアビジネスコース」。

新コース開設のねらいと今後の展望について、
流通科学部の片山学部長にインタビューしました。

大学時代に「アジア」を 学ぶ意義。

本学・流通科学部では、2012年4月より「流通・マーケティングコース」と「経営コース」を導入していましたが、この二つのコースを縦軸とし、横軸として横断的にアジアの視点で各国事情とビジネスのあり方を学習する「アジアビジネスコース」を今年4月から開設しました。

現在、日本の企業では、中国、韓国、台湾に加え、東南アジアなどの成長著しい国や地域の活力をいかに自社の経営に取り入れ、事業を発展させていく

INTERVIEW



流通科学部 学部長
片山 富弘 教授

かが課題となっています。しかし、それを担う国際ビジネスの人材は必ずしも豊富とは言えず、人材不足が原因で海外に踏み出せずにいる企業も多いのが現状です。

企業に入社してからアジアを勉強するのでは遅すぎます。大学時代からアジアを学び、国際ビジネスの初歩的スキルを身につけることで、活躍のチャンスが世界に広がります。「アジアを学ぶ」とは「アジアに学ぶ」ことです。アジアを知ることを通じて、自分たちの今の日本を見つめ直すことに繋がります。「知識」だけではなく「知恵」「洞察力」を磨くことになります。

「アジア」に強い学生を より多く育てたい。

誕生したばかりの「アジアビジネスコース」ですが、流通科学部が海外留学スカラーシップ制度などで中国や韓国の大学と築き上げた交流実績があったからこそ開設ができたと思っています。なお、海外スカラーシップ制度は、タイや台湾など提携大学を拡大中です。また、アジア各国に進出している日系企業への海外インターンシップも今後さらに推進したいと考えています。もちろん、英語プラスαとして、アジアの言語を身につけることにおいても、ビジネスの武器として重視します。

現在、企業はアジアに強い学生を待っています。特に中小企業は即戦力を必要としています。大学でアジアビジネスのスキルを学べば、企業のアジア業務を早期に担当できる可能性があります。

本コースの開設によって期待しているのは、学生がアジアに精通した人材に育ってくれることです。アジア主要国の経済、社会、文化に精通し、企業のマーケティング部門や、経営戦略、海外営業などで活躍できる人材がより多く育ってくれることを願っています。

活躍する卒業生

Graduate of Nakamura



学校法人藤田学園 久留米あかつき幼稚園

坂井 麻里さん

平成19年度 中村学園大学短期大学部
幼児保育科(現 幼児保育学科)卒業

「先生みたいな人になりたい」と
思ってもらえるような存在でありたい。

「努力の上に花が咲く」という
言葉に惹かれて。

保育士の母が生き生きと働いている姿を見ていて、幼い頃から私もいつかは母と同じように子どもと接する仕事がしたいと思っていました。母への憧れがあったので、幼稚園教諭を志したのは自然な流れでした。

中村学園大学短期大学部に進学したのは、母の薦めと私自身が学園祖中村ハル先生の「努力の上に花が咲く」という言葉に惹かれたからです。現在、久留米あかつき幼稚園に勤務して5年が経ちました。振り返ると、元氣な子どもたちと賑やかな毎日を過ごしてきたので、あつという間の歳月でした。

なついてくれる
子どもたちが愛おしい。

園児と接するうえで大切にしているのは、できるだけ子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちが発信することに気を配ること。基本ですが、良いことをした時はしっかり褒め、反対にダメな時はしっかり教えるようにしています。私は子どもたちにとってお手本となる存在なので、先生のようにしなさいと言えるぐらいの言葉遣いや行動を心がけています。

子どもたちが幼稚園で過ごす時間は3年ですが、この短い期間の中で彼らは見違えるほど成長します。そしてその成長が私のやりがいにつながっています。年度初めの頃は環境の変化に不安を感じている園児もありますが、月日とともに徐々に

私になついてくれる子どもたちを愛おしく感じます。

後輩への指導も大切な役割。

幼児教育の基礎は、短大在学中の2年間でしっかり学べました。幼稚園教諭になってから、中村で学んだことの大切さを実感することが多々あります。また、児童文化部(パネルシアタークラブ P E C・く)というサークルで、子どもたちとの接し方を学んだことも私の財産になっています。同じ道に進んだサークル仲間とは、今でも情報の交換をしています。

子どもたちには「大きくなったなら先生みたいな人になりたい」と思われるように、後輩からは「坂井先生のようにになりたい」と思ってもらえるような先生になることが今の目標です。私も経験を重ねてきましたので、後輩への指導も大切な役割となりました。仕事に対する情熱を態度で示し、これからも頑張っていきたいと思っています。



幼稚園教諭は子どもたちのお手本と語る坂井さん。
「子どもたちは見て学ぶことが多いので、私は自分の箸の持ち方ひとつにしても気を配っています」

上司からのメッセージ



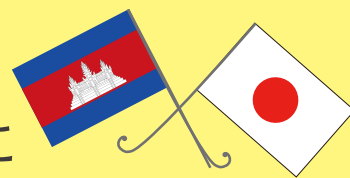
学校法人藤田学園 理事長
久留米あかつき幼稚園 園長
藤田 喜一郎 様

●坂井さんについて

坂井先生の良いところは、子どもたちの中に瞬時に溶け込めることと、誰に対しても、いかなる状況にあっても常に明るい言葉や表情、態度で臨めることです。ただ時には私が「明るい」と「軽い」は違うぞ、と注意することもあります。が、人としての下地は充分に持っているのですから、これからの成長が楽しみです。

●就職活動全般について

就職するとは、会社を選ぶことでも、仕事を選ぶことでもありません。少々難しいことを言うようですが、「生き方を選択すること」なのです。どんな仕事であれば自分の人生を懸けるに値するか?それを考えることから始まるのです。例えば、幼稚園教諭や保育士を目指すのであれば、「まだ未熟で、至らないところばかりの私だけど、子どもたちのために一生努力し続けよう」といった決意を持ってチャレンジすることが大切だと思います。



子どもたちに
体育の楽しさを伝えたい!

教育学部

カンボジア 運動会 プロジェクト

玉入れやあめ食い競争など、
日本でなじみの「運動会」をカンボジアで開催しよう。
そして現地の子どもたちや教員に
体育の素晴らしさを伝えたい。
そんな想いで企画された
「カンボジア運動会プロジェクト」が実現しました。



子どもたちの笑顔がはじけた運動会

運動会の舞台となったのは、カンボジア北西部、児童数約630人のチョンカル小学校。当日は晴天のもと、紅白に分かれて日本でお馴染みの競技が行われました。紅白帽子や用具は日本から持参したものです。子どもたちは目を輝かせながら競技に夢中になり、掛け声や歓声が校庭に響き渡っていました。

また、事前に学内外の皆さんから寄贈された文具類は、運動会の参加賞として子どもたちに手渡すことができました。運動会を盛会のうちに終え、チェッ・マオ校長から喜びとお礼の言葉が述べられ、訪問団は感謝状を授与されました。

現地の子どもたちや教員に、体育の楽しさやすばらしさを伝えることができた「カンボジア運動会プロジェクト」。教育学部では、今後も支援の輪を広げ、研修を通じた教師の体育指導力アップなどカンボジアの体育推進活動が続けていく予定です。

4大学による連携企画プロジェクト

カンボジアでは3年前に保健体育が小学校の必須科目に加わったものの、設備やノウハウも十分ではなく、実際には体育の授業を行っていない学校がほとんどという現状があります。そこで今回のプロジェクトが立ち上がりました。現地での予備調査を踏まえ、誰でも参加でき、見学するだけでも楽しめる運動会に着目。プロジェクトの目的として、カンボジアの風習にはない、日本独自の運動会を現地で開催することになりました。

このプロジェクトは、山口大学、近畿大学九州短期大学、西南学院大学と本学との連携企画で、計60名の教員・学生スタッフで構成されています。本学からは教育学部で体育教育を学ぶ中島ゼミの3年生(当時)が参加。中島憲子准教授、学生10名、卒業生1名からなるスタッフが、約1年間の準備を経て、今年の1月18日から24日の行程で現地を訪れました。



玉入れ、あめ食い競争、二人三脚、列車リレーなどの競技を実施。子どもたちからは「またやりたい」という言葉が聞かれました。



大成功に終わった運動会後に、現地の教員たちと。



運動会終了後、参加賞として多くの方から寄付されたノート、消しゴム、鉛筆、鉛筆削りなどを進呈。子どもたちは大喜び。



人は人に支えられている。中島 憲子 准教授

まずは、今回のプロジェクトに際し、学内外の皆さまから多くの寄付をいただいたことに感謝いたします。プロジェクトは学生主体でしたが、カンボジアで体育が生まれる瞬間を目の当たりにして、学生たちも得るものが多かったと思います。

このプロジェクトで私自身一番感じたことは、人は人に支えられているということ。人を助け、人から助けられて人間は成り立っていることを、学生たちも肌で感じたと思います。学生には、今回の経験を心に留め、未来ある子どもたち、または、社会にとって望ましい教育者になってもいいと思います。

子どもたちが積極的に行動できる環境を作る大切さを学びました。幼稚園教諭を目指す私にとっても、今回の経験は大きかったと思います。

金子 悠利恵さん

子どもたちを笑顔にしたいという想いで頑張りました。そしてそれを達成できたのが良かったです。このプロジェクトにとてもやりがいを感じましたし、学生の私たちでも外国に新しい文化を伝えられるんだと自信になりました。

吉井 裕太郎さん

私は寄付係を担当していたのですが、多くの方々の支援があったからこそ、成立したプロジェクトだったと感じています。また11月にカンボジアに行く予定になっていますので、その時も頑張りたいです。

吉田 香菜さん

運動会開催前は不安でしたが、当日は子どもたちが喜んでくれたことや現地の先生方が協力的だったことにとても喜びを感じました。また、初めて会う他大学の学生と団結して成功させたことも貴重な経験となりました。

小池 亮輔さん

プロジェクト参加 人間発達学部4年生コメント



プロジェクトに参加した10名の学生と中島准教授

学生企画の
商品1

「たべてみ天」

美味しく食べて、豊かな九州の海を取り戻そう！

流通科学部の学生たちが一年かけて、商品開発に取り組んだ魚の加工品「たべてみ天」が、JR博多駅内キヨスクで販売されています。九州の海で増加する植食性魚類であるイスズミのすり身を使ったこの商品には、豊かな九州の海を取り戻したいという学生たちの想いが込められています。

磯焼けで九州の海が危ない

現在、九州の海で「磯焼け（いそやけ）」が深刻な問題となっています。「磯焼け」とは、魚の産卵・育成場所である藻場が大規模に衰退し、何年も回復しない現象です。磯焼けの原因には、海水温の上昇や水質汚濁などがありますが、特にわかめ等の海藻を食べる植食性魚類（イスズミ、アイゴなど）の増加が大きき原因として指摘されています。その対策として漁獲による除去が行われていますが、魚価が低いため流通に乗らず、漁業者は廃棄せざるを得ない状況です。そのため、十分な除去活動が行われず、藻場の再生には繋がっていません。



学生のアイデアで商品化へ

「磯焼け」の問題に着目した後藤ゼミでは、昨年4月より、水産庁漁港漁場整備部整備課、社団法人水産土木建築技術センター、長崎県平戸市、平戸市漁業協同組合と共同で、マーケティングや商品開発の視点から解決策の提案に取り組んできました。学生たちは「磯焼け」について学ぶ中で、植食性魚類の一種であるイスズミの栄養価の高さと淡白であったりとした風味に着目しました。そして、一匹2〜3kgと一般家庭で購入・消費するには大き

2012年8月



平戸の漁港を訪問し、イスズミ料理の試食とアンケート調査を実施。

2012年6月



学内にて商品アイデアのプレゼンテーション。

2012年5月



イスズミの試食会。

2012年4月



「磯焼け」という言葉を初めて聞いた授業。

池田 貴史 さん
(流通科学部4年生)

「たべてみ天」が少しでも売れることで、他の企業にも興味を持ってもらえ、磯焼けの問題がクローズアップされることを望みます。商品化されたことがゴールではなく、これからがスタートだという想いです。



学生によるPR販売

販売初日の3月14日、学生によるPR販売をJR博多駅のキヨスクにおいて実施。マスコミも多数訪れ、売場は大賑わいでした。



JR博多駅にて
販売中!!

すぎるイスマミの水産物としての価値を高め、手軽に美味しく食べるために、加工食品として商品化し販売するアイデアを提案しました。



「たべてみ天」が誕生

そして今年の2月、商品化第二弾として、学生たちの取り組みに賛同してくださった有限会社豊島蒲鉾(福岡市博多区吉塚)のご協力により、イスマミを20%配合した天ぷら「たべてみ天」の商品化が実現しました。商品名の「たべてみ天」には、「あまり知られていないが、実はヘルシーで美味しいイスマミをぜひ多くの方に食べてみて欲しい、そして、美味しく食べることで豊かな九州の海を取り戻す活動に参加して欲しい!」という学生たちの想いが込められています。また、「たべてみ天」は水産庁から手軽においしく魚を食べられる「ファストフィッシュ商品」にも認定されました。価格は210円(税込)で、JR博多駅内のキヨスク(2号店、7号店)で販売されています。ぜひお買い求めください。

学生たちは、九州の玄関口である博多駅から、美味しく食べて豊かな九州の海を取り戻そうという想いが、広く全国に伝わってくれることを祈っています。

筑前クロダマルを使った洋菓子が商品化

「おひさまマドレーヌ」&「おひさまドーナツ」

学生企画の
商品2

流通科学部の後藤ゼミで学び、今春卒業した中尾真由美さんが企画した朝倉郡筑前町の黒豆「筑前クロダマル」を使った洋菓子「おひさまマドレーヌ」と「おひさまドーナツ」が、今年の3月、福岡市内の人気洋菓子店VISAVIS(福岡市中央区今泉)で商品化、発売されました。

中村学園大学と筑前町は、食に関する包括連携協定を結んでいます。中尾さんはこの連携協定が縁で、筑前町の特産品である黒豆「筑前クロダマル」の存在を知りました。生産方法や特徴、生産者の想いなどを調査

するため、筑前町クロダマル生産組合代表の興膳清治(こうぜんせいじ)さんを訪ね、クロダマルが愛情を持って育てられていることや栄養価の高さを学びました。

中尾さんは学びを深めるにつれ、生産者の努力や筑前クロダマルの魅力が一般消費者にあまり知られていない現状に気付きました。そこで、多くの人に筑前クロダマルを食べてもらいたいと、手軽に美味しく食べられる焼き菓子の商品アイデアを考え、VISAVISへ提案し、今回の商品化の運びとなりました。商品名の「おひさま」は、筑前町の輝く太陽のもと、すくすくと育った筑前クロダマルのイメージから付けられました。

今後後藤ゼミでは、若者の視点から福岡の優れた農産物の発掘・情報発信に努めていく考えです。



中尾さんとクロダマル生産者の興膳清治さん

2013年3月



JR博多駅内キヨスク2号店、7号店で販売開始。

2013年2月



販売に向けて店頭に置く看板の作成。

2012年10月



企業に向けたプレゼンテーションを実施。

後藤 恵美 講師

多くの社会人の方と一緒に仕事をすることで、学生たちに責任感が生まれ、意識も変わったように感じます。商品が売れなくてはこの取り組みの意味が無いので、これから勝負。引き続きこのプロジェクトは継続していきたいです。

飛嶋 真紀子 さん (流通科学部4年生)

今まで学んできたマーケティングや商品開発を実践の場で経験できたのが良かったです。商品化は想像以上に難しかったのですが、みんなと一緒に頑張りました。また、リーダーとして、仲間の多様な意見をまとめることの大切さも学びました。



平成25年度 入試結果

競争率は、受験者数 / 合格者数
(小数点第3位以下を四捨五入)

● 中村学園大学大学院

研究科・専攻	課程	種別	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
栄養科学研究科 栄養科学専攻	博士前期	推薦	6	1	1	1	1.00
		一般(1次)		7	6	4	1.50
		一般(2次)		2	2	2	1.00
		外国人留学生		0	0	0	-
	博士後期	一般(1次)	3	1	1	1	1.00
		一般(2次)		0	0	0	-
人間発達学研究科 人間発達学専攻	修士	推薦	5	0	0	0	-
		一般(1次)		0	0	0	-
		一般(2次)		0	0	0	-
		社会人(1次)		2	2	2	1.00
		社会人(2次)		1	1	1	1.00
		外国人留学生		1	1	1	1.00
流通科学研究科 流通科学専攻	修士	推薦	10	8	8	6	1.33
		一般(1次)		3	3	3	1.00
		一般(2次)		1	1	1	1.00
		社会人(1次)		0	0	0	-
		社会人(2次)		1	1	1	1.00
		外国人留学生		2	2	2	1.00

● 中村学園大学

学部・学科		区分	募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率	
栄 養 科 学 部 栄 養 科 学 科	推 薦	公 募 制	50	140	140	57	2.46	
		指 定 校	20	28	28	28	1.00	
		併 設 校	20以内	20	20	19	1.05	
	一般（前期）		90	499	498	177	2.81	
	一般（後期）		5	75	73	5	14.60	
	大学入試センター試験利用（前期）		12	235	235	52	4.52	
	大学入試センター試験利用（後期）		3	15	15	3	5.00	
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-	
	帰国子女		若干名	0	0	0	-	
	教 育 学 部 児 童 幼 児 教 育 学 科	推 薦	公 募 制	80	185	185	98	1.89
併 設 校			15以内	15	15	15	1.00	
一般（前期）			100	883	876	257	3.41	
一般（後期）		5	152	149	36	4.14		
大学入試センター試験利用（前期）		15	450	450	132	3.41		
大学入試センター試験利用（後期）		5	44	44	13	3.38		
外国人留学生		若干名	1	1	0	-		
帰国子女		若干名	0	0	0	-		
流 通 科 学 部 流 通 科 学 科		推 薦	公 募 制	25	29	29	27	1.07
			指 定 校	45	69	69	69	1.00
	併 設 校		40以内	25	25	25	1.00	
	一般（前期）		85	665	663	409	1.62	
	一般（後期）		5	75	73	10	7.30	
	大学入試センター試験利用（前期）		7	181	181	59	3.07	
	大学入試センター試験利用（後期）		3	23	23	6	3.83	
	外国人留学生		10	10	10	10	1.00	
	帰国子女		若干名	0	0	0	-	

● 中村学園大学短期大学部

学科	区分		募集人員	志願者	受験者	合格者	競争率
食物栄養学科	推 薦	公 募 制	37	93	93	61	1.52
		指 定 校	63	62	62	62	1.00
		併 設 校	10以内	10	10	10	1.00
	一般		35	172	172	55	3.13
	社会人		5以内	8	8	2	4.00
	外国人留学生		若干名	1	1	0	-
キャリア開発学科	推 薦	公 募 制	10	16	16	16	1.00
		指 定 校	110	109	109	109	1.00
		併 設 校	15以内	10	10	10	1.00
		自 己 推 薦	5	5	5	5	1.00
	一般		10	44	44	38	1.16
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-
幼児保育学科	推 薦	公 募 制	75	117	117	94	1.24
		指 定 校	60	70	70	70	1.00
		併 設 校	15以内	15	15	15	1.00
	一般		40	167	166	60	2.77
	社会人		若干名	0	0	0	-
	外国人留学生		若干名	0	0	0	-

付属幼稚園 だより



ウサギの世話を教えている年長児と
それを見ている年中児

新たな一歩

あさひ幼稚園 志水 陽子

3月になると、園の中の雰囲気
これまでとは少し違ってきます。年
長組は、卒園式の練習や進学に向け
ての準備が始まります。年中・年少
組も、一年間の成長を振り返りなが
ら進級に向けての準備をしていきま
す。この時期、どの学年の子どもた
ちも、次へのステップを楽しみにし
ながらも、何とも言えない不安や緊
張を抱えているようです。

ところで、その不安や緊張は、子
どもたちだけではありません。保護
者の方にも同じようなことが言える
ようです。その不安や緊張、悩みを
クラス担任が共有し、できる限りの
アドバイスをし、そして次のステッ
プへと送り出していきます。

そんな中にあっても、年長児は年
長児として、最後まで「自分たちが
幼稚園のためにできること」を、年
中・年少児に伝えようと頑張ってく
れています。園のウサギ小屋の掃除
とウサギのえさやりは、これまで年
長組の係の仕事でした。最近、それ
を年中児が見に来るようになりました。
時々手伝いをするようになりました。
年中児は「何やっての?」と関心
をもって声をかけ、年長児は「やっ
てみる?」と投げかけます。自分た
ちがこれまでやってきた役割活動を
次の代に引き継いでいくかのように、
お互いのかかわりが生まれています。

こうして、次の新しい一年がやっ
てくる準備を整えて、4月から、そ
れぞれが新しい環境で、不安や緊張
を一つずつ乗り越えながら、新たな
成長を遂げていきます。保育に携わ
る者としての大きな喜びを実感でき
る時です。間もなく迎えるお別れの
その時まで、子どもたちと保育者が
織りなす日々の生活を見守っていき
たいと思います。

中国人民大学農業・農村発展学院と 学術交流協定を締結



平成25年3月18日、中村学園大学・中村学園大学短期大学部と中国人民大学農業・農村発展学院は学術交流協定を締結しました。

調印式は中国で行われ、甲斐学長、流通科学部徐准教授、宮元事務局長が出席しました。協定の主な内容は、研修教員や学生の相互

受入れ、教員による講義・研究セミナーの実施、共同課題研究の実施、学術成果などの交流で、協定書には甲斐学長と温学院長が署名しました。

平成21年3月には流通科学部は中国人民大学商学院と学術交流協定を締結しており、「海外留学スカラーシップ制度」により、これまでに9名の学生が留学するなど、友好的な関係を築き上げてきました。

また、本学と中国人民大学は、流通科学研究所国際セミナーの講師や外国人客員研究員の招聘など、かねてより研究者レベルの交流を積極的に推進しています。

今後は、「食品安全研究センター」の創立に注力し、研究成果の出版に向けた取り組みや、流通科学部に新設された「アジアビジネスコース」における教育など、さらなる交流が予定されています。

中国人民大学は、北京市海淀区にある人文科学・社会科学を教授する総合大学で、権威ある大学と国家が認める国家重点大学の指定校として、その教育・研究活動は高く評価されています。



短期大学部キャリア開発学科 「組織的取組による短期集中型 キャリア形成支援プログラム」が 優秀校に認定

短期大学部（清水誠学部長）キャリア開発学科では、平成19年の学科発足以来、多様化、高度化する社会のニーズに対応するため、「組織的取組による短期集中型キャリア形成支援プログラム」に取り組みましたが、平成21年度 文部科学省「大学教育・学生支援推進事業（学生支援推進プログラム）」の採択を経て、より実質的な取り組みを実行してきました。

その取組が認められ、文部科学省より、4段階評価（S、A、B、C）のうち最上位の総合判定S評価（目標に沿った取組が実施されており当該目標を十分に達成している）を受けました。また、本プログラムはS評価校のなかでも特に優れた取組として高く評価され、平成25年2月に「優秀校」（465件の採択された取組の中から25件が優秀校として決定）に認定されました。

キャリア開発学科では、この結果を謙虚に受け止め、今後も建学の精神にもとづいたマナー教育と、人間性豊かなキャリア形成支援に継続して取り組んでいきます。



取組の発表ポスターと担当した清水短期大学部長
（前・キャリア開発学科主任）

基礎教育センター設置

平成25年4月1日より、本学・第2体育館5階に「中村学園基礎教育センター」が開設されました。

この施設は、中村学園大学並びに中村学園大学短期大学部のリメディアル教育の進展に資するために、新たに置かれたもので、学生の基礎学力向上サポートを主な業務として、以下のような活動を行っていきます。個別指導や学内講座等の費用は無料です。身近で学べる学内スクールとして、ぜひ、活用してください。

第1回「高大接続教育研究会」

平成25年2月27日、本学にて第1回高大接続教育研究会が開催されました。この研究会は、本学と高等学校との交流・連携を通じて相互に教育内容の理解を深め、円滑な高大接続を推進するとともに教育の活性化を図ることを目的としています。

第1回となるこの日は、福岡県内公立高等学校23校から24名の先生方と本学から流通科学部及び短期大学部キャリア開発学科教員ならびに事務職員が参加しました。ソニー学園理事湖北短期大学教務部長佐藤清彦氏による基調講演に続き、高校・大学からの情報提供のほか、本学の教職員も交えた活発な意見交換が行われました。今後は1年に2回程度、定期的に開催し、相互理解と連携を深めていく予定です。



センター教員による学生一人ひとりへの個別学習指導
指導科目は英語、国語、数学、理科（生物・化学）

学内講座の開講
SPI 基本講座、TOEIC 基本講座、小論文講座

編入学対策支援
編入学相談、対策講座の開講

開館時間：平日11時～19時、土曜日10時～13時（第2・4土曜は休館）
個別指導の予約受付は10時から行っています。

筑前町「食の都づくり」 2012公開講座

本学と筑前町は、包括連携協定を締結しており、食を核とした地域活性化事業に取り組んでいます。平成24年度は連携事業の一環として、筑前町の町民を対象とした公開講座が左記の内容で行われました。

■第1回 平成24年11月30日
―食の生産と消費― 食べることは産地を生かすこと―

講師 甲斐 諭 学長

講座では、日本の農業情勢や食料の流通、中国の食品生産や韓国の食料需給システムの現状と農産物の輸出入の可能性について解説されました。また、TPP（環太平洋連携協定）の問題点と九州への影響や、日本における食の安全基準のさまざまなシステムと精度の高さが示され、地域共助や農業保護、安心で安全な食の保持の重要性が提言されました。

■第2回 平成24年12月14日
―日本型食事は健康の宝箱―

講師 食物栄養学科 松隈 紀生 教授

前半は、郷土の健康献立をメニューにした調理示範と調理実習が行われました。食材の切り方や灰汁を取るタイミング、食材の旨味を逃がさない調理方法とポイントが示された後、参加者が調理実習を行いました。後半は、日本食と歴史、郷土料理についての講話があり、博多の季節料理や由来、福岡（博多）独自の食習慣なども紹介されました。



■第3回 平成25年1月18日
―食と環境― 食中毒を中心とした最近の話題―

講師 栄養科学部 古賀 信幸 教授

食中毒と輸入食品の2点を中心に展開されました。わが国における食中毒（病原微生物）の現状と事例のほか、食品衛生法に基づく輸入食品の違反事例等の紹介や、食品添加物についても説明があり、食品添加物は安全で、私たちの食生活に大いに役に立っていることが分かりやすく示されました。



東アジア企業経営学会 第1回全国大会

平成25年2月24日、本学において東アジア企業経営学会第1回全国大会が開催されました。この学会は、東アジアにおける企業経営にかかわる研究学会で、日本・中国・台湾・韓国・ロシアの地域を主に対象としています。

本学流通科学部では4月より「アジアビジネスコース」が本格始動。今回多くの流通科学部教員が会員として研究発表に参加しており、教員として研究活動を学生への教育に還元するという理念のもと、実りある研究報告が行われました。

また、甲斐学長からアジアビジネスコースを念頭に、本学におけるビジネス教育と本学会の役割の重要性についての挨拶がありました。全国大会のプログラム等詳細についてはWebページをご覧ください。

<http://www.pwpc.org/asia/>



男の料理教室2012

平成25年1月19日、

栄養・調理実習室において男の料理教室2012が開催されました。この料理教室は、男子学生に調理を通して食育を学んでもらおうと食育推進委員会が主催し企画されたもので、今年で2年目です。

講師は、食育推進委員でもある食物栄養学科の内田和宏講師が務め、示範の後に参加者が助手の指導のもと、「さばのピリ辛みそ煮」「ポテトのそぼろ煮」「れんこんサラダ」「オクラのすまし汁」にチャレンジしました。

調理器具の棚探しから始まり、調味料の準備、食材の下ごしらえ、全メニューの調理を同時に進めるなど慌ただしく、あつという間に時間が過ぎていきました。

学生の中には、家庭科の授業以外では包丁を初めて手にする学生や和食を初めて作る外国人留学生もいましたが、悪戦苦闘の末どうにか作りあげることができました。

先生方が予め準備した麦飯を合わせて、大変美味しい「一汁三菜」ができあがり、その後の試食では、お互いに味見し自慢し合うなど和やかな楽しい時間となりました。



にこにこウォーキング& ジョギング2013

平成25年4月6日、地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会主催の「にこにこウォーキング&ジョギング2013」が開催されました。

このイベントは、三大学（中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学）がスポーツ、医療、栄養という各大学の専門性を活かし、地域の健康づくりや疾病予防等を通じて地域社会に貢献することを目的とするもので、今年度で第2回目の開催となりました。

当日は荒天予報のため予定されていたコースでのウォーキング・ジョギングは中止になりましたが、福岡大学第二記念会堂内で田中宏暁先生（福岡大学スポーツ科学部教授）による講座とスロージョギング運動を行いました。

また、会場には栄養相談コーナー、血圧測定コーナー、口臭測定コーナーのブースも設けられました。

あいにくの天候ではありましたが、多くの方が足を運んでくださり、大盛況のうちに終えることができました。



Q-conference 2012 Being as a Cultivator! —私が育む学生の真実—

Q-conference 2012 Being as a Cultivator!

私が育む学生の真実

日時 2013年3月2日(土) 12:30-18:00

場所 九州産業大学 (〒812-8502 福岡市東区松島2-3-1)

■ 本学発表ポスターセッションタイトル

【栄養科学部】

文部科学省大学教育推進プログラム「患者の行動変容を導く管理栄養士の育成～付属医療施設「栄養クリニック」での早期臨床体験と模擬患者実習を基盤とした実践教育～」の授業化への展開

【教育学部】

多様な幼児理解に基づく『個別支援能力』向上のための幼稚園教育実習指導のあり方に関する研究

- 実習生指導のための保育カンファレンス・スキルの開発を目指して -

【流通科学部】

実学教育としての「総合演習Ⅱ」

- 当事者視点に基づき、新たな可能性を見つける視点の育成 -

平成25年3月2日、「Q-conference 2012」が九州産業大学にて開催されました。このイベントは、Q-Links () の活動として、Q-Links 担当者及び大学教育改善に関わる教職員や学生が一堂に集まり、出会い、知り合い、発見し、これまでのQ-Links を振り返る場として企画されたものです。

「オープニングセッション」に続き、仲間の知恵や工夫を知り合う「ポスターセッション」や大学の未来へ向けた学生への成長にかかわっていくかについて、話題提供

者の経験談を踏まえ、参観者を交えて対話を行う企画セッション等さまざまなセッションが展開されました。

本学からは、ポスターセッションに栄養科学部・教育学部・付属あさひ幼稚園と共同で流通科学部からそれぞれの研究や授業に関するポスターを出展しました。

「ポスターセッション」では3分のPRタイムにおいて40名を超える発表者がPRを行いました。栄養科学部はPRタイム開始直後の発表で会場を盛り上げ、流通科学部は学生も発表者として参加し、他の参加者との対話を行いました。特に教育学部のPRにおいては付属あさひ幼稚園の教員が見学者も巻き込んだユニークなPRを行い、周囲の注目を浴びていました。

本学の取り組みを他大学に紹介するだけでなく、他大学の取り組みをその場で知り、新たな出会いや発見を得ることができるとも充実したカンファレンスでした。

Q-Links (九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク)

人的ネットワークの構築や情報共有を通じて、各大学の教育の充実・発展に寄与することを目的に福岡市内の6大学(九州大学・西南学院大学・福岡大学・福岡歯科大学・福岡女子大学・中村学園大学)でスタート。発足から3年が経った現在、九州・沖縄地域の賛同校が30大学を超え、全国の賛同者も50名を超えました。今もネットワークは広がり続けています。



サークルフェスタ2013

平成25年4月4日、新入生オリエンテーションの最終日に、体育館のメインフロアでサークルフェスタが開催されました。文化系、体育系の全サークルが集結し、各サークルの紹介やサークルへの勧誘を行いました。サークルスタンプラリーも実施され、各サークルをまわってスタンプを5個集めた新入生には、プレゼントが渡されました。



ステージ中央では、NDA部によるダンス和太鼓部、吹奏楽部の演奏などが繰り広げられ、大いに盛り上がりしました。

中村学園女子中学校・高等学校校舎が「福岡県美しいまちづくり建築賞」受賞



福岡県内の個性豊かで、美しく、良好な景観を形成する建築物を表彰し、美しいまちづくりに対する県民意識の醸成を図ることを目的として実施されている「第25回福岡県美しいまちづくり建築賞」において、応募総数90件の中から、中村学園女子中学校・高等学校の校舎が優秀賞を受賞。3月2日に太宰府の九州国立博物館で授賞式が行われ、小川福岡県知事から表彰状と記念品が贈られました。

授賞式において選考委員会の工藤卓委員長は、選考理由として「女子校らしい綺麗さと明るさが第一印象です。教育の施設機能の充実だけでなく、生徒同士や生徒と教師のコミュニケーションを促す場になっており、学校生活での和気あいあいな雰囲気を作り出しています。」と講評を述べられました。

春のオープンキャンパス

平成25年3月16日、春のオープンキャンパスが開催されました。当日は533名の高校生や保護者の方々に会場いただきました。オープンキャンパスでは、入試相談や学生生活相談をはじめ、栄養士系、幼児保育・児童教育系、企業系の分野における模擬授業や在学生との交流、クラブ・サークル紹介、入試説明会などイベントが盛りだくさんで、大好評でした。



なお、夏のオープンキャンパスは8月10日と8月24日に開催される予定です。

教員の表彰

日本対がん協会福岡支部 財団法人福岡県すこやか健康事業団）がん研究助成金奨励賞を受賞



小野 美咲 助手



平成24年12月、小野美咲助手が、養科学部が日本対がん協会福岡支部財団法人福岡県すこやか健康事業団から、がん研究助成金奨励賞を受賞しました。

この賞は昭和39年から続くもので、日本対がん協会のがん征圧事業の一環として、国際的

外部資金受入れ状況

研究助成

- 【研究者】熊原 秀晃（栄養科学部・講師）
 【研究課題名】歩数の増加が青壮年女性の身体不活動とメンタルヘルスに及ぼす影響
 【企業名等】公益財団法人明治安田厚生事業団
 【金額】1,000,000円
- 【研究者】熊原 秀晃（栄養科学部・講師）
 【研究課題名】歩数の向上は日常身体活動の質と健康増進行動関連因子を改善するか？
 【企業名等】公益財団法人中富健康科学振興財団
 【金額】1,000,000円

学生表彰

平成24年度
総合GPA優秀者表彰

「中村ハル育英奨学金基金規程」による、平成24年度総合GPA優秀表彰者が左記のとおり決定しました。表彰者には学位記授与式当日、表彰状と純金製のメダルを配した盾が手渡されました。

短期大学部 食物栄養学科 原田佐知子
 キャリア開発学科 重政 美保
 幼児保育学科 山口 紫織
 栄養科学部 栄養科学科 江藤つばさ
 人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻 中島すみれ
 流通科学部 流通科学科 並河茅耶子
 GPAとは、Grade Point Averageの略です。

GPAは、学生が履修した科目の成績評価に応じて、秀「4点」、優「3点」、良「2点」、可「1点」、不可・不認定「0点」としています。総合GPAとは、学生が在学中に履修した科目それぞれのGPAに、その科目の単位数を乗じて得た値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除して得た値のことです。

この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できます。

平成24年度卒業学生 表彰者

各養成課程を優れた成績で卒業する学生を各種団体が表彰しています。平成24年度は次のとおり決定しました。

●全国栄養士養成施設協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 吉丸 紗稀
 栄養科学部 栄養科学科 落石紗耶加

●全国保育士養成協議会会長表彰者

短期大学部 幼児保育学科 山口 紫織
 人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻 福山はるな

●日本フードスペシャリスト協会会長表彰者

短期大学部 食物栄養学科 岩根 琴乃
 栄養科学部 栄養科学科 森永 絵美

中村学園大学同窓会
奨学金授与式

平成25年3月14日、中村学園大学同窓会奨学金の授与式が行われました。



この奨学金制度は中村学園大学の学生のリーダー的人材育成のための奨励活動並びにスポーツ・文化活動の向上に資することを目的とするもので、平成24年度に制定されました。対象となるのは、中村学園大学に在籍する学生及び学内の団体のうち、同窓会が認定した学業成績を収

プログラム

- 講演「児童幼児の造形活動について」
 中村学園大学 教育学部 准教授 中野 隆二
- 造形教育ワークショップ
 分科会 A「楽しいモビールづくり」
 中村学園大学 教育学部 教授 井上 寛七
 B「描こうよ！大きな絵」
 中村学園大学短期大学部 非常勤講師 大江登美子

敬称略、肩書き等は開催日現在のもの



造形教育ワークショップ開催

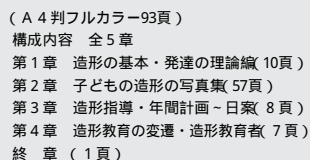
平成25年2月16日、本学美術部門主催による造形教育ワークショップ『考えて描いて、作って、造形（遊び）っておもしろい！』が、福岡市美術館で開催されました。このワークショップは、美術部門プロジェクト研究（代表／中野隆二准教授）の研究テーマ「児童幼児教育における造形指導についての実践方法と事例研究」の一環として、造形指導の実践に関する講演と実技の内容で行われ、1歳から63歳までの71名が参加しました。

めた者、または同窓会が認定した各スポーツ大会等で優秀な成績を収めた個人または団体です（短期大学部生、大学院生、留学生は対象となりません）。平成24年度は、奨励活動の部において、栄養科学部（平成25年3月卒業）の御手洗早也加さん、スポーツ・文化活動の部において、空手道部とバスケットボール部が奨励学生（団体）に選ばれました。交付式では、高木徳文同窓会長から一人ひとりに奨励学生証が手渡され、甲斐学長からお祝いの言葉が述べられました。

採用人事（平成25年4月1日付）

中村学園大学・中村学園大学短期大学部の美術部門プロジェクトによる「子どもの造形集—児童幼児の造形活動と造形指導計画—」が発行されました。

本書は、造形教育の理論と実践の統合の視点から教育の方法を明確化するものです。造形教育は、児童・幼児教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成と伝統を継承し、新しい文化の創造を目指す教育です。これについて本学における大学および短期大学部の造形教育は、人間形成のための創造教育の重要な役割から、児童・幼児の指導と作品を掲載しています。



著者は、本学教員のみ記載、
()内は出版社、発行年月

中野 修治 栄養科学部・教授 **共著**
小野 美咲 栄養科学部・助手
(光生館 平成25年1月)

[illegible]

大部 正代 栄養科学部・教授 **共著**
 (西日本新聞社 平成25年3月)

現代流通の基礎理論
松本浩一 著
監修 佐藤 孝一
監修 佐藤 孝一

片山 富弘 流通科学部・教授 共著
 岩永 忠康 流通科学部・特任教授
 後藤 恵美 流通科学部・講師
 (五続舎 平成25年3月)

経営学の基本
手塚信三・中野実 編著

片山 富弘 流通科学部・教授 共著
(ニシダ出版 平成24年5月)

Roger Handberg
Peter Smith
Heather Goodland
Judith Smith

**Stepping
Stones for
the TOEIC Test**

池田 祐子 流通科学部・講師 共著
(朝日出版社 平成25年1月)



教授（大学・教育学部）	針塚 進
准教授（大学・教育学部）	石田 靖弘
准教授（大学・教育学部）	坂本真由美
准教授（大学・流通科学部）	中村 芳生
准教授（大学・流通科学部）	前田 卓雄
講師（短大・幼児保育学科）	橋本 一雄
常勤助手（大学・栄養科学部）	岩本 華奈
常勤助手（大学・栄養科学部）	五郎丸 瞭子
常勤助手（大学・栄養科学部）	濱田 綾子
常勤助手（大学・栄養科学部）	山本 健太
常勤助手（大学・流通科学部）	谷口 亮介
常勤助手（短大・食物栄養学科）	川原 愛己
常勤助手（短大・食物栄養学科）	平山 隼人

平成25年度役職者

学長（大学・短期大学部）
 大学院栄養科学部研究科長
 大学院人間発達学研究科長
 大学院流通科学研究科長
 栄養科学部部長
 栄養科学部部長補佐
 教育学部長
 教育学部部長補佐
 流通科学部部長
 流通科学部部長補佐
 短期大学部長
 食物栄養学科主任
 キヤリア開発学科主任
 幼児保育学科主任
 図書館長


 常勤助手（短大・食）

 常勤助手（短大・キ）

 基礎教育センター教
 務課課員

 管財課事務職員

 吉岐幼稚園常勤講師

藥膳科學研究所長
 発達支援センター長
 流通科学研究所長
 基礎教育センター長
 大学付属あさひ幼稚園園長
 大学付属あさひ幼稚園主任教諭
 大学付属岐阜幼稚園園長
 大学付属岐阜幼稚園主任教諭

内山文昭	昇地勝人	甲斐諭	上森啓史	那須信樹	志水陽子	宮坂明	洲上乃里子
------	------	-----	------	------	------	-----	-------

基礎教育センター教育職員	落合淳郎（三陽中高教諭）
基礎教育センター教育職員	柳瀬尚司（三陽中高教諭）
基礎教育センター教育職員	山口尚子（三陽中高教諭）
基礎教育センター教育職員	豊増健治（教務課係長）
基礎教育センター教育職員	岩尾祐介（經理課係長）
基礎教育センター教育職員	中尾留美子（学芸大学事務室室員）
基礎教育センター教育職員	川田育実（就職課課員）
基礎教育センター教育職員	吉村寿美（三陽中高事務室室員）
基礎教育センター教育職員	長島有里（総務課課員）
基礎教育センター教育職員	加藤由紀（学生課課員）

落合淳一郎	(三陽中・高教諭)
柳瀬 尚司	(三陽中・高教諭)
山口 尚子	(三陽中・高教諭)
豊増 健治	(教務課係長)
岩尾 祐介	(經理課係長)
中尾留美子	(学部・中障務室員)
川田 育実	(就職課課員)
吉村 寿美	(三陽中・高務室員)
長島 有里	(総務課課員)
加藤 由紀	(学生課課員)

教授（大学）	岩本 昌子（大学 准教授）
教授（大学）	日野 修造（大学 准教授）
准教授（大学）	田村 知子（大学 講師）
准教授（短大）	松隈 美紀（短大 講師）
助教（大学）	田村 孝洋（大学 助手）
事務局次長兼教務課課長	赤司 博文（教務課課長）
教務課課長補佐	馬場 丈晴（教務課課長）
管財課課長補佐	小野田 誠明（管財課課長）
入試課係長	内場 真一（入試課課員）

退職人事（平成25年3月31日付）

教授（大学）	田中	浩子
教授（大学）	崔	光善
教授（大学）	福永	吉徳
教授（短大）	橋本俊二	郎
教授（短大）	森	康博
准教授（大学）	近江	雅代
准教授（大学）	日高	晃昭

常勤教員から専任教員への人事
(平成25年4月1日付)

講師(大学)	大川 洋史(大学)	講師(大学)
講師(大学)	中川 宏道(大学)	講師(大学)
助手(大学)	黒水るみこ(大学)	常勤助手
助手(短大)	寺井 泰子(短大)	常勤助手

助手（短大）
助手（短大）
助手（短大）
助手（大学）
助手（大学）
助手（大学）
北原 詩子
八住香代子
西頭 東加
竹下 華織
田村 麻衣



中村学園大学栄養クリニック 編著

食から始める生活習慣病予防

「適量生活のススメ2012」

500kcalでも大満足の一汁三菜レシピ



本学の医療施設「栄養クリニック」では、肥満に伴う生活習慣病の患者さんを対象に栄養支援による病態改善を行っています。

このたび、肥満および生活習慣病の予防・改善を目的として月一回開催している料理教室のメニューをまとめたレシピ集を発刊しました。低エネルギー、減塩、低コレステロールなどさまざまな工夫がなされた全て500kcal 前後の栄養バランスのとれたレシピを紹介しています。調理の参考やご自身の食生活習慣の比較に活用し、健康増進にお役立てください。

レシピ集は学内売店の丸善キャンパスショップで販売しています。(定価300円)



旬の食材を使った一汁三菜の適量生活で生活習慣病予防!

栄養クリニック料理教室でも好評の12レシピを掲載。



お問い合わせ先

中村学園大学栄養クリニック TEL&FAX 092-851-2869

公式 Facebook を開設しました。

中村学園大学・中村学園大学短期大学部の公式 Facebook ページを開設しました。「いいね!」ボタンを押して、サイトを応援してください。

本学では Facebook を通して、学内のニュースやイベント情報をはじめ、ホームページでは伝えきれない“ナマ”のキャンパスの様子を写真や動画などを使って掲載していきます。

在学生や卒業生、教職員など本学にご縁のある方はもちろんのこと、本学の取り組みに興味を持たれている方は、ぜひご覧ください。



<https://www.facebook.com/NakamuragakuenUniversity>

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料(2年分)として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封のうえ、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回(4・7・10・1月)となります。保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先] 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1 中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係